



はっとり友則県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

県立八千代広域公園の整備

市の意向反映した計画へ!

12月県議会 一般質問

また、血液製剤の安定供給に欠かせない献血に関し、若者層への献血の重要性を訴えるよう求めたほか、動物愛護に関しては、ペットの飼い主のモラル向上を図る取り組みに力を入れるよう求めました。服部県議のその他の主な質疑と合わせ、1、2面で特集します。

文化都市・八千代市から、市議を経て現在2期目の県議会議員を務める服部友則(はっとり・ともりの)県議は、6月定例会に続いて12月県議会的一般質問にも登壇し、八千代市の県立八千代広域公園の設置方針について、「地元市の意向を十分反映した整合性の取れた計画にしなければならぬ」とし、市の負担に対し、県も応分の支援を行うよう、地域の声をしっかりと県側に伝えました。



県議会の壇上で森田知事に一般質問する服部県議

八千代市
特集

県、年度内に覚書を整理

服部県議 県立八千代広域公園は、平成20年1月にパブリックコメントが実施され、同年7月から萱田側広場について、県民によるワークショップが開催されたところ。この結果を受けて、萱田側をどのように整備していくのか。

まちづくり担当部長 萱田側のみんなの広場は、県民の意見を反映させていくため、昨年7月から9月にかけてワークショップを合計3回開催し、多くの提案をいただきました。

提案内容は、①子供が入って遊べる川②ピクトープなどの環境学習空間③広場を眺め、風を感じる小山④雨の日や、イベント、災害時の防災拠点としても使用できる屋根つき広場⑤剪定した枝や刈草等をリサイクルするリサイクルヤードなどが、それらを考慮しながら、昨年度、基本設計を策定したところです。

服部県議 八千代市の計画を受け、今後、県はどのように市との協議や手続きを進めていくのか。

まちづくり担当部長 八千代市が県と市との合同検討会議を踏まえて、八千代広域公園の村上側に総合グラウンド及び図書館、市民ギャラリーを設置する構想を持っています。現在、この構想を

事業化していくために、県と市との間で覚書など具体的な手順について、今年度内に整理することとしております。

もともと県が行うはずだった図書館設置を、八千代市が自前でやる事業になっているので、本来であれば県の負担、市の負担を明確にしなければいけないので、萱田側をどのように整備していくのか、県の施設を補完する事業となることが予想されますので、県側の配慮を強く求めていきたいと思っています。

要望 今後、八千代市が計画を進めるであろう総合グラウンドと、市民ギャラリーを併設した中央図書館になるかと思っています。

服部県議 中学生や高校生など若年層への献血の重要性について、県はどのように行っているのか。

森田知事 将来にわたり献血者を確保するためには、若者層に献血への理解を深めてもらうことが大変重要であり、国が高校生用に作成した啓発テキストを高校生3年生全員に配布しています。

本県では、献血が可能となる16歳に達する前の世代にも、独自に中学生向けの啓発資料を作成し、中学3年生全員に配布しています。

また、中学生や高校生から献血ポスターの募集などを行い、理解を呼びかけています。

さらに今年度から、6月補正予算で新たに献血推進員5名を雇用し、大学、専門学校への献血要請や若者をターゲットとしたキャンペーンを実施しています。今後とも献血の重要性の周知を図ってまいります。

若年層へ献血のPRを

要望 成人等、既存の対象者に対する働きかけも必要ですが、これからの献血推進に関しては、若者層、特にこれから献血の対象となる中学生や高校生に働きかけしていく方が、効果が上がるのではないかと、県教委の取り組みに期待したい。

このまちが好きだから

県政や八千代市のご相談、ご意見を聞かせてください

はっとり友則 県事務所

〒276-0034 八千代市八千代台西 2-4-18
TEL. 047-485-1400
FAX. 047-485-1443

PROFILE/服部友則県議	
経歴	
・昭和32年5月	八千代市生れ
・昭和56年3月	山梨大学教育学部卒
・昭和58年1月	八千代市議初当選(6回当選) 八千代市議会副議長 八千代市議会議長
・平成15年4月	県議会議員初当選
・平成19年1月	県議会議員再選
現職	
・県議会	環境生活警察常任委員会委員
・千葉県	国土利用計画地方審議会委員
・自民党県連	総務委員会委員
・八千代市卓球連盟会長	
・八千代市防災協会副会長	
・服部英数教室経営	

八千代市
特 集

12月県議会一般質問
信頼と実績で
改革ニューリーダー

はっとり友則の県議

飼い主のモラル向上と業者指導を！

動物愛護で県へ要望



再質問に立ち、要望や提言をする服部県議

服部議員 近年のペットブームを背景に、最近、千葉県の大やネコの処分頭数が全国上位であると報道されました。処分される犬やネコの多くが、飼い主から引き取られたものであることから、飼い主としての責任の重要性を認識することが大切だと考えます。そこで、ペットの引き取りを減少させるための県の取り組み状況はどうか。

健康福祉部長 処分された犬、ネコの多くが飼い主から引き取られたものであることから、県では、犬や

ネコの飼い主が安易な引き取りを求めることをなくすため、平成17年度から引き取り指定場所を集約するとともに、平成18年度には、有料化にしました。

その結果、引き取り頭数は、平成16年度と20年度を比較すると、14320頭から8836頭とおよそ3割減少しました。なお、19年度からは、引き取られた犬やネコなどに飼い主がより多く現れるよう、それまで新しい飼い主に限定していた譲渡先を、飼い主を探すボランティアにも拡大し、



昨年12月、動物愛護センターを視察
＝安易なペット販売にも警鐘が必要

そのため、広報活動による知識の普及や意識啓発の推進とともに、①小学生等を対象にした動物愛護教室での動物愛護精神の育成②飼い主等を対象にしたしつけ方教室での正しい飼い方

譲渡の機会を増やしました。

服部議員 動物愛護センターにおける取り組み状況はどうか。

健康福祉部長 不幸な犬やネコの引き取りを減少させるためには、動物を正しく愛情をもって最後まで飼うことや、むやみに子犬・子ネコを増やさないなど、飼い主としてもモラルの向上が大切と考えています。

の指導などを行っています。

平成20年度には、動物愛護教室を23回開催し、1108名の参加が、また、犬の正しい飼い方・しつけ方教室は35回、404名の参加がありました。今後とも、より多くの方々が参加するよう努めてまいります。

農業会議の建議重視求め

服部議員 平成22年度に向けた千葉県農業会議の建議の内容はどうか。

また、今後県としてどのように対応していくのか。

農林水産部長 今年度提出された建議は、担い手の育成や生産対策の強化、計画的な生産基盤の整備など、従来からの内容に加え、本年6月に交付された農地法等の改正を踏まえ、優良農地の確保と利用促進に努める

ボトル水を製造・販売

県水道局

服部議員 東京都などは、水道水を原料としたペットボトル水を製造・販売して水道水に対するイメージを向上させています。ペットボトル水の製造・販売の今後の検討状況はどうか。

水道局長 水道水に対するおいしさや安全へのイメージを改善し、一人でも多くの方に蛇口から出る水を、安心して飲んでもらえるようにすることが重要な課題だと思っています。ペットボトル入りの水道水の市販について、先行事業体の状況などを参考に検討してきま

したが、年度内に製造・販

す。

服部議員 ペットボトル水を来年秋開催の「ゆめ半島千葉国体」の機会にPRしてはどうか。

水道局長 県外から多くの選手と観客が訪れる国体は、おいしい水道水をPRする絶好の機会と考えています。そこで、国体マスコットの「チーバくん」をラベルに印刷したボトル水を「海ほたる」など県内各地で販売し、開・閉会式でも販売イベントを実施する予定です。

なる発展を目指してまいります。

要望 千葉県農業会議の建議は、現場のことをよく知っている農業委員

の意見を踏まえて作成されたものであり、本県農業の発展のために、今後とも政策に生かしていくことを要望します。

スーパーサイエンス高校

今年度は県船高と市川高

服部議員 千葉県におけるスーパーサイエンスハイスクールの実施状況はどうか。

また、県教委はこの事業をどう支援していくのか。

県教育長 スーパーサイエンスハイスクール事業は、理数教育改善のための研究開発を行う高校を、文部科学省が5年間指定するものです。千葉県ではこれまで、市立千葉高、県立柏高、芝浦工業大学柏高の3校が指

定を受け、全国の9校が指定を受け、本県では県立船橋高と市川高の2校が指定されています。県立船橋高では「カマキリの捕食行動」など生徒の関心に基づいた研究や「砂鉄から鉄を取り出す製鉄体験」など、大学等と連携した講座を実施しているところです。